

取組の概要

取組の概要 : 品質向上に向けた果樹棚等資材導入

- ①規模拡大に伴う果樹棚の導入
- ②施設化のためハウス資材等の導入
- ③品質向上に向けた栽培技術指導

計画作成主体 : 津山市農業再生協議会

対象品目 : ぶどう (産地面積: 14ha)

主な取組主体 : 津山農業協同組合

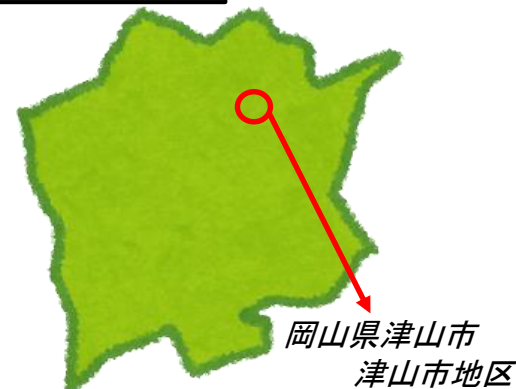
成果目標 : 販売額の10%以上の増加

助成金の活用 : 生産支援事業 (果樹棚、パイプハウス、資材導入)

ポイント

規模拡大による販売数量の増加、施設栽培と露地栽培を合わせたりレー出荷を推進するとともに、栽培技術を徹底することによる品質向上、販売額の増加を実現。

地区の概要



産地の現状と目標

〈現状:H28年度〉

作付面積 : 12ha

出荷数量 : 70.8t

販売額 : 530,862円/10a

〈目標:H31年度〉

作付面積 : 14ha

出荷数量 : 82.6t

販売額 : 602,341円/10a



推進体制

地域の関係者 (岡山県、津山市、津山農業協同組合) が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

- ぶどう産地の確立に向け、ピオーネ・シャインマスカット等を地域振興作物に位置づけ、栽培を推進。

事業効果

- 資材導入による規模拡大や、栽培技術の徹底による品質向上により、販売数量の増加が期待できる。
- 販売数量、販売額の増加により、生産者の所得向上につながり、ぶどうの産地力強化を実現。

～ぶどうの販売額～

